

ラリーガイド 1



NOVEMBER 16TH - 19TH



FORUM8 RALLY JAPAN 2023

WWW.RALLY-JAPAN.JP

Title Partner



Gold Partner



Silver Partners



Bronze Partners



FORUM8 2023 FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP ROUND 13 Rally Japan 2023

11月16日(木) - 19日(日)



WRC FORUM8 Rally Japan 2023 を
タイトルパートナーとして応援します

バーチャルフォーラムエイトラリージャパン2023

メタバース
公開予定!





ラリージャパンは環境に配慮した 大会運営を目指します



ラリージャパン2023 環境政策

ラリージャパン2023実行委員会は、本大会開催に際して、自然環境の保護・保全の必要性を認識しています。私たち実行委員会はその環境責任を理解し、環境の負荷の把握、監視、最小化を継続的に取り組むとともに、関係者と価値観を共有し、意識の向上に努めます。

ラリージャパン2023実行委員会は、以下のマニフェストを厳守し、環境保全に配慮した有意義な大会開催を目指します。

1. 国際及び日本の法的枠組みの下で適用される規制環境要件の遵守に努めます。
2. 世界中のモータースポーツとモビリティの利害関係者が環境パフォーマンスを測定し、向上させることの支援を目的としたFIA 環境認定プログラムにおいて、最高ランクである3つ星の獲得を目指します。
3. 環境保全に関する啓発を実施し、関係者とともに、以下の効果的な共同取組を推進します。
 - (1) 環境にやさしい大会づくり
 - ・大会で使用するエネルギーについて、積極的に再生可能エネルギーを活用します。特に豊田スタジアム（スーパーSS及びサービスパーク等）で使用する電力は、100%グリーンエネルギーで供給します。
 - ・大会で発生する廃棄物を可能な限り抑え、効果的な分別や処理を構築し、リサイクルと再利用を促進します。特にイベント等で使用する資材には、環境配慮素材を活用します。
 - ・実行委員会メンバー、関係者（サプライヤー、製品及びサービス提供者、参加者、メディア関係者、観客等）には、公共交通機関の利用を奨励し、不要不急の移動を削減します。
 - ・汚染物質の排出・排水は適切に回収・処理し、水の使用を最小限に抑えます。
 - (2) 山林保全
 - ・この地域では長年にわたり、人の営みにより森林保全に努めてきたため、林道等を活用したラリー競技を開催することができます。この競技を通じて、山村の魅力を国内外に発信し、森林が果たす役割を伝えていきます。
 - ・すべてのイベントエリアにおいて、生態系環境に、悪影響を与えないように努めます。
 - (3) 子どもたちへの教育
 - ・関係自治体の小中学生に、地元開催の大会という身近な題材を通じて、持続可能な社会について考える機会を作ります。
4. 環境パフォーマンスとこのポリシーを少なくとも年に1回測定、監視及び評価し、継続的に改善するために必要な措置を講じます。

本大会の持続性と発展のためには、すべての運営スタッフと関係者が共に、具体的な対策を実行することが重要となります。

ラリージャパン2023実行委員会会長
2023年7月



エントリーの皆様 - 環境への配慮をお願いします。



土壌汚染を避けるため、以下の対応をお願いします

- 常に車の下にマットを敷く
- 部品の清掃は、主催者の規定に従う
- 危険な液体容器（燃料ドラム、キャニスターなど）の下には、流出防止のトレイを配置する。



水の使用については、無駄のない ようにすること



廃棄物の分別は、ルールに沿っ て適切に行うこと。

目次

1	ごあいさつ	5	8	車両と部品の日本への持ち込み/日本での運転	
2	オーガナイザーの連絡先		8.1	外国籍車両の日本国内の公道における走行について	15
2.1	大会事務局	6	8.2	車両に係る規則と保険	15
2.2	主要オフィシャル	6	8.3	日本国内を運転する条件	16
2.3	ラリー本部(ラリーHQ)	6	9	ヘリコプター	
2.4	ラリー競技事務局	6	9.1	登録手続	17
2.5	メディア連絡先	6	9.2	ヘリコプター事業者	17
3	プログラムおよび主要な締切		10	ホスピタリティの手配	17
3.1	大会期間前のスケジュール	7	11	宿泊手配	18
3.2	大会期間中のスケジュール	7	12	メディア	
3.3	ラリーHQとメディア受付・メディアセンター開場時間	7	12.1	大会開始前の連絡先	18
4	エントリー		12.2	FIAパーマネントパス保持者	18
4.1	タイトル	9	12.3	国際メディア、フォトグラファー、ラジオ、インターネット	18
4.2	エントリー基準と受付期間	9	12.4	テレビ	18
4.3	参加台数	10	12.5	国内メディア、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ	18
4.4	車両クラス	10	13	医療とセーフティサービス	
4.5	エントリーフィー(WRC参加者)	11	13.1	緊急通報用電話番号	19
4.6	エントリーフィー(ノンプライオリティ)	11	13.2	医療サービス	19
4.7	プライベートテスト	11	13.3	ロードサービス	19
4.8	エントリーパッケージ	12	13.4	薬局	19
5	サービスパーク		14	総合案内	
5.1	サービスパークの場所と開設時間	12	14.1	中部セントレア国際空港(NGO)	20
5.2	サービスパークの設備	12	14.2	鉄道	20
5.3	サービスパークへの燃料の持ち込み	13	14.3	タイムゾーン	20
5.4	環境対応、リサイクル、廃棄物回収	13	14.4	日の出/日の入り	20
6	無線	13	14.5	平均気温/降水日数	20
7	燃料/タイヤ		14.6	通貨	20
7.1	FIA燃料	13	14.7	税金	20
7.2	給油	13	14.8	チップ	20
7.3	リモートリフューエルゾーン	13	14.9	電気	20
7.4	安全燃料タンク	14	14.10	携帯電話	20
7.5	FIA燃料サンプル用カップリング	14	14.11	各国大使館	21
7.6	タイヤ	14	14.12	ビザ(査証)と水際対策	21

本書類は案内書として作成されたものであり、規則的な効力はありません。

1 ごあいさつ

「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」の開催にあたり、多くの関係者の皆様に御指導と御協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

今回の大会は「ENJOY! RALLY JAPAN」をコンセプトに、「WITH FANS/ファンとともに」「WITH TEAMS/チームとともに」「WITH HOST TOWNS/開催地のみなさんとともに」「WITH EARTH/環境にやさしい大会づくり」を目指し、開催に向けて準備を進めています。

昨年、12年ぶりにWRCが日本で開催されました。この地ならではともいえる日本らしい美しい里山を生かしたコースを、世界最高峰のドライバーたちが、ファンの熱狂的な声援のなか、モンスターマシンとともに走り抜けました。また、地元愛知県出身の勝田貴元選手が総合3位で表彰台を獲得したことは、ラリー関係者の皆様及び開催地の皆様の記憶に新しいことでしょう。再びあの熱狂を、ファンの皆様、チームの皆様、開催地の皆様とともにつくりあげていくことが、今から楽しみでなりません。

大会主催者として、引き続き、関係自治体の皆様の御協力を賜りながら、この大会が、ファンの皆様にとって、そして選手や関係者の皆様にとって満足のいくものとなるよう、尽力して参ります。



太田稔彦

ラリージャパン2023実行委員会会長
豊田市長

昨年、2010年以来12年ぶりに“復活”したラリージャパンが、今年も愛知県と岐阜県の2県にまたがるかたちで開催できますことを大変嬉しく思っております。

2年目の開催となります「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」の実施に向けましては、共に主催者となっていただきました豊田市を始め、岡崎市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市の関係者の皆様に多大なる御尽力と御支援を賜り、心より御礼申し上げます。特に今大会では、豊田スタジアムにおきましてスペシャルステージが設けられ、車の性能とドライバーの技量の高さを会場に訪れるファンの皆様に間近で見得る事となりました。豊田市の御協力により、このようなファンがわくわくする環境を御提供していただきました事にも重ねて感謝を申し上げます。



2023年11月16日から19日の期間、世界中のラリーファンの目がこの日本の美しい里山に注がれ、ラリーというモータースポーツを通してラリーの迫力や紅葉に染まる日本の四季の美しさに魅せられ、多くの人々に楽しんでいただける素晴らしい大会となりますよう関係者一同準備してまいりました。ENJOY! RALLY JAPAN! どうぞ御期待ください。

関谷正徳

ラリージャパン組織委員長
TMSC会長

2 オーガナイザーの連絡先

2.1 大会事務局

ラリージャパン2023実行委員会事務局: 豊田市ラリーまちづくり推進課内
〒471-0025 愛知県豊田市西町 3丁目60番地 西庁舎 8F
Tel: 0565 34 6950 Fax: 0565 34 6681

ラリー競技事務局: 特定非営利活動法人 MOSCO
〒471-0025 愛知県豊田市西町 1丁目200番地 豊田参合館
Tel: 0565 41 3316 Fax: 0565 41 3319

E-メール: info2023@rally-japan.jp *一般的なお問い合わせ
entry@rally-japan.jp *エントリーからのお問い合わせ

ウェブサイト: <https://rally-japan.jp>

ツイッター: @2020rallyjapan

フェイスブック: @2020rallyjapan

インスタグラム: rally_japan

2.2 主要オフィシャル

イベントディレクター: 中神泰次
y-nakagami@rally-japan.jp

イベント副ディレクター: 塚田知宏
tomohiro-tsukada@city.toyota.aichi.jp

コミュニケーションマネージャー: 佐藤博之
hiro@iltempo.co.jp

競技長: 高桑春雄
h-takakuwa@rally-japan.jp

競技事務局: 高橋浩司
k-takahashi@rally-japan.jp

2.3 ラリー本部 (ラリーHQ)

スカイホール豊田
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20
Tel: 0565-87-5200
ウェブサイト: <http://www.toyota-taikyo.or.jp/skyhall/hall.html>
ラリー本部 (HQ) は11月10日 (金) から20日 (月) まで開設される予定です。
開場時間は3.3項を参照ください。

2.4 ラリー競技事務局 - Rally Office * 11月9日 (木) まで

NPO法人MOSCO 豊田事務所
〒471-0025 愛知県豊田市西町 1丁目200番地 豊田参合館 2F

2.5 メディア連絡先

三浦正人 (ナショナル・プレス・オフィサー)
media-rj@rally-japan.jp

3 プログラムおよび主要な締切

3.1 大会期間前のスケジュール

7月14日(金)
ラリーガイド1発行
8月22日(火)
無線免許申請およびヘリコプター登録の締切日
8月31日(木)
特別規則書ホームページ公開
エントリー受付開始
9月7日(木)
ペレリタイヤの注文締切日
FIA燃料の注文締切日
9月16日(土)
メディア申請受付開始日
10月6日(金)
臨時運行許可証申請締切
10月16日(月)
エントリー締切
レッキのみ参加登録締切
10月19日(木)
ラリーガイド2発行
10月23日(月)
エントリーリスト発行 - デジタル掲示板
10月26日(木)
ナショナルプレスオフィサーへのメディア申請締切(国内メディア)
11月2日(木)
FIAメディアデレゲートへのメディア申請締切(インターナショナルメディア)

3.2 大会期間中のスケジュール (日本時間 : UCT+9時間)

11月10日(金)		
12:00 - 20:00	サービスパーク・オープン - プライオリティドライバー	豊田スタジアム
11月11日(土)		
7:00	サービスパーク・オープン - 全参加者	豊田スタジアム
15:00 - 20:00	臨時運行許可証事前配布(プライベートテスト参加者向け)	ラリーHQ-スカイホール豊田
11月12日(日)		
9:00 - 15:00	プライベート・テスト	林道池田線(鞍ヶ池)
9:00 - 19:00	参加確認 - 時間指定制	ラリーHQ-スカイホール豊田
11月13日(月)		
6:00 - 16:30	レッキ1日目	

11月14日(火)		
6:00 - 16:00	レッキ2日目	
12:00	ルートノートカー受付終了(P1クルーのみ)	ラリーHQ - スカイホール豊田
15:00 - 18:30	FIAセーフティエマージェンシーコンソール配布	SASオフィス - サービスパーク
11月15日(水)		
6:00 - 16:30	レッキ3日目	
9:00 - 12:00	車検&シーリング - ラリー1車両	サービスパーク内 各チームのサービスベイ
14:00 - 19:00	公式車検&シーリング - その他の全車両	豊田スタジアム B2駐車場内車検場
14:00 - 16:00	救出訓練	未定
16:00	WRCチームマネージャーミーティング(招待者のみ)	未定
17:00 - 17:30	フォトグラファー・ブリーフィング	メディアセンター
18:00	ドライバー・セーフティブリーフィング	未定
20:00	シェイクダウン・スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月16日(木)		
9:01 - 10:30	シェイクダウン - WRC P1と指名ドライバー	鞍ヶ池公園
10:30 - 12:30	シェイクダウン - 全プライオリティドライバー	鞍ヶ池公園
11:30 - 13:00	シェイクダウン - ノンプライオリティドライバー	鞍ヶ池公園
13:30	ミーティング・ザ・クルー	サービスパーク
14:00	FIA記者会見	メディアセンター
15:00	セクション1&2 スタートリスト公開	デジタル掲示板
16:00	ヘリコプターパイロット・ブリーフィング	ラリーHQ - スカイホール豊田
17:00	ラリーショー(サイン会)&ドライバー紹介	豊田スタジアム
18:00	スタートセレモニー	豊田スタジアム
19:05	ラリースタート - セクション1	豊田スタジアム
11月17日(金)		
5:29	ラリースタート - セクション2	豊田スタジアム
~18:30	ミーティング・ザ・クルー	サービスパーク
20:00	セクション5スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月18日(土)		
7:40	ラリースタート - セクション5	豊田スタジアム
~17:30	ミーティング・ザ・クルー	サービスパーク
20:00	セクション9スタートリスト公開	デジタル掲示板
11月19日(日)		
5:34	ラリースタート - セクション9	豊田スタジアム

14:15	ウルフ・パワーステージ	旭高原
15:15	パワーステージ・セレモニー	旭高原元気村
TBC	表彰式・賞品授与	豊田スタジアム
TBC	再車検	豊田スタジアム
17:00 - 20:00	臨時運行許可証(仮ナンバー)の返却	未定
17:30 - 19:00	FIAセーフティエマージェンシーコンソール返却	SASオフィス - サービスパーク
18:00	FIA記者会見	メディアセンター
19:30	暫定結果発表	デジタル掲示板

3.3 ラリーHQとメディア受付・メディアセンター開場時間

日付	曜日	ラリーHQ	メディア受付	メディアセンター
11月10日	金	09:00-19:00		
11月11日	土	09:00-19:00		
11月12日	日	08:00-20:00		
11月13日	月	08:00-20:00	14:00-18:00	14:00-18:00
11月14日	火	08:00-20:00	08:00-18:00	08:00-18:00
11月15日	水	08:00-20:00	08:00-18:00	08:00-20:00
11月16日	木	08:00-21:00	08:00-18:00	08:00-22:00
11月17日	金	05:30-21:00	-	05:30-22:00
11月18日	土	07:00-22:00	-	07:00-22:00
11月19日	日	05:30-20:00	-	05:30-21:00
11月20日	月	08:00-12:00	-	-

4 エントリー

4.1 タイトル

- FIA 世界ラリー選手権ドライバー/コドライバー部門
- FIA 世界ラリー選手権マニファクチャラーズ部門
- FIA 世界ラリー選手権チーム部門
- FIA WRC2 選手権ドライバー/コドライバー部門
- FIA WRC2 チャレンジャー選手権ドライバー/コドライバー部門
- FIA WRC2 選手権チーム部門
- FIA WRC マスターズカップ ドライバー/コドライバー部門
- FIA WRC3 選手権ドライバー/コドライバー部門

4.2 エントリー基準と受付期間

FORUM8 Rally Japan 2023 に参加を希望する者は、FIA ウェブサイト<https://registration.fia.com/wrcjpn>に掲載されている電子エントリーフォームに必要な事項を記入し、エントリー締切日までに提出してください。電子フォームを送信することにより、競技者は本大会の規則及び規定を遵守するものと

みなされます。また参加者は、参加受付の際にエントリーフォームに署名を求められます。エントリーフォームの締め切りは、日本時間10月16日（月）17:00（UTC +9時間）です。ナショナルクラスにエントリーする参加者は、エントリー開始後、ラリージャパン・ウェブサイトに掲載される別のエントリーフォームに記入して期日までに提出してください。

4.3 参加台数

参加台数の上限は60台です。エントリー数が上限を上回った場合、オーガナイザーは当該台数を増やす権利、及びノンプライオリティドライバーの中から参加可能なエントリーを決定する権利を有します。参加車両は、2023年FIA WRC競技規則第12条4項記載の通り各クラス（およびグループ）に振り分けられます。

4.4 車両クラス

A. 2023年FIA WRC 競技規則第12条4項「車両クラス」

CLASSES GROUPS		
RC1	World Rally Cars: 1.6Lターボエンジン	<ul style="list-style-type: none"> *2023年付則J項第262条に準拠したRally 1車両 *2021年付則J項255条Aに準拠したワールドラリーカーで、ドライバーが過去5シーズンにおいてWRCマニファクチャラーチーム(5.3条で定義されるWRCチームではない)でポイントを獲得しておらず、また以下のポイントを除き255A-334条に準拠したリストラクターを装着している場合。 <ul style="list-style-type: none"> a)リストラクターの最大内径33.7mm b)最も狭いところのリストラクター最大外径が39.7mm未満でなければならず、各側面に5mmの距離にわたって維持されなければならない。 *2013年12月31日以前に公認されたワールドラリーカーで、100/01 KSR追加公認、さらにWR追加公認、および2013年付則J項第255条Aに準拠したもの。2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーが認められる *2014年1月1日以降に公認され、200/01WRCにて追加公認されワールドラリーカーおよび2016年の付則J項第255条Aおよび、2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる *2015年1月1日以降に公認され、300/01WRC追加公認および、2016年付則J項第255条Aおよび2016年12月31日以前に発行されたFIAパスポートを持つWRCカーだけが認められる
RC2	Group Rally2 Group Rally2 Kit	<ul style="list-style-type: none"> *2023年付則J項第261条に準拠したグループラリー2車両 *2023年付則J項第260条Eに合致したRally2キットカー
RGT	RGT Cars	<ul style="list-style-type: none"> *2019年付則J項Art.256に準拠したグループRGT車 *2023年付則J項Art.256に準拠したグループRGT車両
RC3	Rally3(排気量1390cc以上 2000cc以下及び927cc以上 1620cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2021年1月1日以降に公認され、2023付則J項第260条に適合しているグループRally3車両
RC4	Rally4(排気量1390cc以上 2000cc以下または927cc以上 1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年01月01日以降に公認され、2023年付則J項第260条に適合しているグループRally4車両 *2018年12月31日以前に公認されたグループR2車両で、2018年付則J項Art.260に適合している車両
	R3(排気量1600cc以上 2000cc以下または1067cc 以上1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループR車両
	R3 (排気量1620cc以上のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年12月31日以前に公認され、2019年付則J項第260条に適合しているグループR車両
RC5	Rally5 (排気量1600cc以下 または1333cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2019年1月1日以降に公認され、2023年付則J項第260条に適合しているグループRally5車両
	Rally5 (排気量1600cc以下 または1067cc以下のターボ)	<ul style="list-style-type: none"> *2018年12月31日以前に公認され2018年付則J項第260条に適合しているグループR1車両

B. ナショナルクラス車両/リージョナルカー

JAFによる承認を受けFIAへの申し出がなされた車両は第12条3項に基づきエントリーできる。これらの車両は、2023年FIA国際モータースポーツ競技規則附則J項第253条で定められた**安全要件を完全に満たしており**、また、および2023年WRC競技規則で定められた関連するすべての条項（タイヤ、バーコード、燃料、再スタート規定等）に合致していなければならない。

クラス	グループ	
JRCar1	2500cc以上	*2000ccを超えるグループNR4車両(現行のN4車両) *AP4車両/JP4車両 *2500ccを超えるJAF規定 RJ及びAPRC国内車両
JRCar2	1601cc~2500cc	*自然吸気の1601ccを超え2500ccまでのJAF規定 RJ及びAPRC国内車両 *2WDターボ942ccを超え1600ccまでのJAF規定 RJ及びAPRC国内車両 1600cc(公称排気量)
JRCar3	1600cc以下	*1600ccまでのJAF規定 RJ及びAPRC国内車両
Classic Car	-----	*Alpine Classic Car Rallyとして別途発行される特別規則書を参照

4.5 エントリーフィー（WRC選手権参加者）

WRCプロモーターとラリージャパン2023実行委員会の合意に基づき、フォーラムエイト・ラリージャパン2023は、すべてのWRC選手権（FIA WRC競技規則に定めるWRC、WRC2、WRC2チャレンジャー、WRCマスターズカップ、WRC3）の参加選手を含むFIA登録メーカーおよびWRCチームの参加費は免除されます。

4.6 エントリーフィー（ノンプライオリティ）

以下の料金はすべて消費税10%込み

エントリーフィー:	550,000円
レッキのみ:	110,000円
補助車両プレート（1枚）:	55,000円

4.7 プライベートテスト

プライベートテストは、以下の要領で実施します。

開催日:	2023年11月12日（日）
時間:	9:00~15:00
場所:	林道池田線（豊田市）
参加資格:	クラスRC1にエントリーしている者を除く全ての競技参加者
料金:	1台につき55,000円（税込）
	プライオリティドライバーは料金免除となります。
	*詳細とお申込みは、ラリーガイド2をご覧ください。

4.8 エントリーパッケージ（ノンプライオリティ）

車両通行証	サービス車両	1
	補助車両	1
サービスパーク	サービスベイ	5m× 7.5m
アドミニストレーション	特別規則書	ウェブサイト
	ラリーガイド2	ウェブサイト
	ロードブッカー式	2
	ルートマップ	2
	公式プログラム	5
パス	ドライバー/コドライバー	2
	チームゲスト	1
	チームメンバー	5

5 サービスパーク

5.1 サービスパークの場所と開設時間

サービスパークは、豊田スタジアムに設置されます。GPS座標は以下の通りです。

N35 05 04.4 E137 10 15.4

サービスパークの最終的なレイアウトや詳細情報については、順次大会ホームページで公開します。

FIAプライオリティドライバー/チームは、11月10日（金）12:00からサービスパークに入場できます。ノンプライオリティドライバー/チームは、11月11日（土）7:00からサービスパークに入場できます。

フレキシサービスは、2023年FIA WRC競技規則第59条に基づき、各日の最終サービスにて適用されます。

5.2 サービスパークの設備

サービスパーク周辺の各所では、以下のような施設やサービスが提供される予定です。

- ・トイレ
- ・廃棄物回収（*国内参加者は各自ゴミはお持ち帰りください）
- ・照明（一部）

以下のものは、事前のリクエストにより有償で提供いたします。

- ・専用トイレ
- ・有害廃棄物回収
- ・専用警備
- ・電話及び専用インターネット回線
- ・電源（100V, 60Hz）
- ・飲料水
- ・テント及び各種事務用品

ご注文は、ウェブサイトの「Service Park Facilities Order Form」をご利用ください。

また、各競技参加者には、サービスパーク内で以下のエリアが提供されます。

- ・WRCのエントラントは、FIA WRC競技規則附則VIにて定められた大きさ
- ・ノンプライオリティサービスベイは5m×7.5m、または合意した内容

5.3 サービスパークへの燃料の持ち込み

サービスパークへの燃料の持ち込みは、日本の消防法で定めるとおり、1チームあたり40リットル以下（発電機用を含む）とします。

5.4 環境対応、リサイクル、廃棄物回収

競技参加者の皆様には、環境保護への取り組みにご協力をお願いいたします。

- 土壌汚染を防ぐために、オイルや汚水が地面に流れ出ないように、作業時はトレイやシートをご用意ください。
- 水は貴重な資源ですので、無駄な使用はしないでください。
- 廃棄物は主催者の指示に従って、分別の上で指定の場所に持ち込みください。国内の競技者の皆様は、ゴミをお持ち帰りください。

6 無線

日本では、双方向無線（Two-way radio）の使用が厳しく規制されています。双方向無線通信機器の使用を希望される方は、8月22日（火）18時（日本時間）までにラリージャパン競技事務局（entry@rally-japan.jp）までご連絡ください。無線機の周波数、型番、送信出力などの仕様が必要です。

7 燃料/タイヤ

7.1 FIA燃料

P1 Racing Fuelsは2023年のFIA指定燃料サプライヤーです。FIA燃料の使用は、すべてのプライオリティドライバーに義務付けられています（FIA WRC競技規則第62条1.1）。ノンプライオリティドライバーは、FIA燃料または主催者が指定するガソリンスタンドの市販燃料の使用を選択できます。

P1 Racing Fuelを使用したことがない競技者は、車両がこの燃料に適合していることを確認してください（エンジンのマッピングなど）。また、P1 Racing Fuelsは、すべての競技者に対し、技術的な事項に関する資料（<http://bit.ly/3H8tGVD>）を十分に確認するように求めています。また、使用するオイルについては、自動車メーカーにお問い合わせください。

競技者は、大会の10週間前(9月7日(木))までに、FIA燃料サプライヤーであるP1 Racing Fuels社（<https://p1-fuels.odoo.com>）まで、必要な燃料をお知らせください。

P1 Racing Fuels 担当者: marwan@p1fuels.com

7.2 給油

FIA燃料は、ロードブックに記載された指定燃料補給ゾーン（RZ）のみで給油することが可能です。（サービスパーク及び下記7.3に記載された3か所のリモートリフューエルゾーン）

ノンプライオリティドライバーは市販の燃料を使用することができます。この燃料は、ロードブックに記載されているガソリンスタンドにて競技車両に直接給油されなければなりません。

7.3 リモートリフューエルゾーン

以下、3か所のリモートリフューエルゾーンが設定される予定です。

- ・11月17日（金）SS3、SS6走行後 稲武 N35 13 02.2 E137 30 34.5
- ・11月18日（土）SS10、SS14走行後 作手 N34 58 34.1 E137 25 26.8
- ・11月19日（日）SS19走行後 中津川 N35 27 23.9 E137 28 03.1

7.4 安全燃料タンク

全ての車両は、FIA国際モータースポーツ競技規則附則J項第253条14項に定めるFIA公認の安全燃料タンクの装着が義務付けられています。FIAテクニカルリストNo.1も併せて参照ください。

www.fia.com/regulation/category/761

燃料タンクには、FIA指定の給油カップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項2を参照ください。燃料タンクがトランク内にあり、コクピットとの間に防火隔壁があるノンブライオリティドライバーの競技車両は、一般の給油ポンプから直接給油するために一般的なキャップを装着することができます。

ポンプ燃料を使用するノンブライオリティドライバーは、FIA WRC競技規則第62条3項7を参照ください。FIA規定に基づく給油カップリング装着車で、市販のポンプ燃料を使用する場合は、給油アダプター（漏斗）を車載のうえ車検時に確認を受けなければなりません。

7.5 FIA燃料サンプル用カップリング

FIAブライオリティドライバーの車両は、FIA燃料サンプルカップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則第62条3項5及びFIAテクニカルリストNo.5を参照ください。

7.6 タイヤ（路面：ターマック）

全ての競技者は、使用可能なタイヤに関して、2023年FIA WRC競技規則第13条を遵守するようお願いいたします。

FIAは、2023年WRC世界ラリー選手権のタイヤサプライヤーを以下の通り指定しています。

Pirelli Pneumatici S.p.A

Viale Piero e Alberto Pirelli n. 25 I-20126 Milano Italy

ウェブサイト: www.pirelli.com

連絡先: Terenzio Testoni

E-メール: terenzio.testoni@pirellif1.com

電話: +39 (0)335 1227 136

4輪駆動車両で出場する選手は、ピレリの供給するタイヤを使用しなければなりません（ナショナルクラスに出場する4輪駆動車も同様）。

2輪駆動車の場合、タイヤメーカーは自由に選択できますが、2023年FIA WRC競技規則第13条3項1と第13条3項2を遵守しなければなりません。RGT車両については、第13条4項1及び第13条4項2を参照してください。

ピレリへのタイヤ発注は、遅くとも9月7日（木）までに、ラリージャパン2023のウェブサイト上にあるフォームから行ってください。

8 車両と部品の日本への持ち込み / 日本での運転

8.1 外国籍車両の日本国内の公道における走行について

日本国外で登録された競技車両、レッキ車両、サービス車両を日本国内で走らせるためには、主催者を通じて国土交通省から臨時運行許可証（臨時ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。臨時運行許可証の申請には、自動車登録証と自動車検査証が必要です。申請には時間がかかります。10月6日(金)18:00までに必要書類のコピーのPDFデータを下記までメールにてお送りください。

entry@rally-japan.jp

なお、臨時運行許可証の取得には別途費用がかかります。また、日本での輸出入・輸送に関しては、確実かつ迅速に対応するため、必ずラリージャパンの公式貨物代理店（下記参照）へ発注するよう貨物代理店へお伝えください。そうでない場合は、臨時運行許可証をご用意することはできません。

(1)ATAカルネは、車両/工具/部品/タイヤ（大会終了後に再輸出されるもの）、及び販促品に使用することができます。ATAカルネで輸入されたものは、すべてラリー終了後に再輸出されることになっています。一時的であっても、禁制品の輸入は禁止です。

(2)SHIPPING INVOICEの使用については、フォーラムエイト・ラリージャパン2023の公式貨物代理店である株式会社CARS JAPANにご確認ください。

重要なお知らせ 高圧ガスボンベなどの危険物、食品、食器、医療品などを輸入しようとする、費用と時間のかかる煩雑な手続きを経て、特別な許可を受けなければなりません。そのうえ、手続きはご自身にて行わなければなりません。そこで、これらの物品は輸入するのではなく、現地で調達することをお勧めします。また、窒素ガスやアルゴンガスの販売、溶接機などのレンタルも予定しています。

フォーラムエイト・ラリージャパン2023における車両や物品の輸入は、下記の公式貨物代理店にお問い合わせください。

株式会社CARS JAPAN

〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原15-6 3F-B

Tel: 045 306 7043 Fax: 045 305 3630

担当者: 森井真一<shinichi@carsjp.net>

8.2 車両に係る規則と保険

フォーラムエイト・ラリージャパン2023に参加する車両は、FIA国際競技規則附則J項に定める場合を除き、道路運送車両法、道路交通法等の国内関連法令及びJAF国内競技車両規則（照明装置、排気音量等）を遵守しなければなりません。

また、フォーラムエイト・ラリージャパン2023に参加する車両（ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両）は、下記 (a) 自賠責保険、及び(b)自動車保険への加入を求めます。

(a) 自賠責保険 日本の公道を走行する車両（ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両等）は、国内法により自賠責保険への加入が義務付けられています。

日本国内での登録済み車両以外の車両は、ラリージャパン事務局にて自賠責保険への加入手続きを実施するため、保険料相当額（7,000円）の負担を求めます。

(b) 自動車保険 ラリーカー、及びレッキカー、サービス車両の運行中の他者（人）・他物との接触や、ドライバー/コ・ドライバーの死傷等を補償します。

FIAプライオリティドライバーは、ラリーカー、及びレッキカー（一時輸入の臨時運行許可車両）を含め

て、ラリージャパン事務局にて自動車保険への加入手続きを実施します。ノンプライオリティドライバーはラリージャパン事務局を通じてお申し込みいただくか、個別加入済みの有効な保険証券をエントリーフォームとともにご提出ください。

なお、自動車保険に個別加入する場合には、以下を充足させてください。

【自動車保険の要件】

- ・ 契約条件に合致し、賠償責任保険と人身傷害保険が有効であること
- ・ 対人賠償責任保険：支払限度額 無制限
- ・ 対物賠償責任保険：支払限度額 20億円以上
- ・ 人身傷害保険：有り
- ・ ラリーカーについては、ラリー競技走行中の事故も補償可能であること

ラリージャパン事務局を通じて、自動車保険を申し込むノンプライオリティドライバーは、ラリージャパン2023のウェブサイトに掲載予定のフォームにてお申し込みください。保険料は年齢や補償期間によって異なりますが、10,000円から70,000円程度となります。

8.3 日本国内を運転する条件

- (1) 海外から入国する者が日本国内で運転するためには、有効な日本の運転免許証もしくは国際運転免許証を所持していなければなりません。国際運転免許証（IDP）は、1949年ジュネーブ条約の加盟国が同条約の規定のもと発行されたものに限り、日本での運転に有効であると認められています。1969年ウィーン条約を含むほかの条約や協定に関するIDPは、1949年ジュネーブ条約の加盟国によって発行されたものであっても無効となります。

また、以下の条件を満たす必要があります： IDPの有効期限は発行日から1年間とし、IDPを所持して運転できるのは入国日から1年間とします。

1949年ジュネーブ条約締結国リスト:

https://treaties.un.org/pages/ViewDetailsV.aspx?src=TREATY&mtdsg_no=XI-B-1&chapter=11&Temp=mtdsg5&clang=en

- (2) ベルギー、フランス、ドイツ、モナコ、スイス、台湾で発行された運転免許証は、以下の条件を満たしていれば、日本国内で運転することができます：

- 免許証の原本とともに、法律で定められた機関が作成した日本語訳を携帯していること。

- 運転免許証の翻訳を作成することが法律で認められている事業者は、以下の通りです：

- (a) 免許証の発行期間機関、または発行国の在日大使館・領事館
- (b) 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- (c) 台湾ライセンス台日関係協会 (台湾の運転免許証保持者)
- (d) ドイツ自動車連盟 (ADAC)(ドイツの運転免許証保持者)
- (e) ZIPLUS 株式会社

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/english/traffic_safety/drivers/licenses/index.html

- (3) 上記以外の免許証をお持ちの方は、日本国内で実技試験等を受け、「外免切替」の手続きで現地免許証を取得いただくこととなります。外免切替の詳細は、下記リンクをご参照ください。

[Information on the Japanese Translation for Switching a Foreign Driver's License to a Japanese License \(jaf.or.jp\)](https://www.jaf.or.jp/information-on-the-japanese-translation-for-switching-a-foreign-driver-s-license-to-a-japanese-license)

注意1: エストニア共和国が道路交通に関するジュネーブ条約に加盟したことにより、条約で承認された国際運転免許証で日本国内を運転することが可能になりました。そのため、日本語訳のついたエストニ

アの運転免許証で日本国内を運転することはできなくなりました。日本で運転される場合は、ジュネーブ条約に基づく国際運転免許証の取得など、他の手段をご検討ください。

注意2:「外免切替」においては、日本での滞在先を明記する必要があります。フォーラムエイト・ラリージャパン2023の場合は「愛知県内の滞在先（ホテル等）」を必ずご指定ください。日本の免許証の取得は、指定された運転免許試験場での手続きが必要です。手続きはラリージャパン事務局が指定した日に行われますので、来日前に余裕を持ってスケジュールを組む必要があります。必ず事前にラリージャパン事務局へご連絡ください。

参照リンク:

[外国人運転免許証と国際運転許可証\(警視庁\)](#)

[日本での有効な運転免許証\(JAF/英語\)](#)

[日本での自動車運転について\(JAF/英語\)](#)

[交通ルール\(警視庁/英語\)](#)

[道路のルール\(JAF/英語\)](#)

[警察庁・交通局\(英語\)](#)

9 ヘリコプター

9.1 登録手続き

ラリーをサポートするために飛行するすべてのヘリコプターは、主催者に登録されていなければなりません。ラリー空域を管理するための標準的なプロトコルがあり、登録された航空機のみがこの空域を飛行することを許可されます。また、ヘリコプターの登録料が課されます。着陸地点のスケジュールとGPS座標は後日公開され、そこにはスペシャルステージとサービスパークが含まれます。パイロットブリーフィングへの出席は、すべてのパイロットに義務付けられています。

ヘリコプター登録の申し込みは、8月22日（火）18:00（日本時間）です。

連絡先: entry@rally-japan.jp

9.2 ヘリコプター事業者

ラリージャパン事務局が推奨するヘリコプター事業者は以下の通りです。

朝日航洋株式会社

担当: 真山陽一

youichi-mayama@aeroasahi.co.jp

セントラルヘリコプターサービス株式会社

担当: 松野雄一

yuuichi-matsuno@central-heli.co.jp

10 ホスピタリティの手配

VIP向けホスピタリティパッケージの提供ご希望の方は、PIA DAIMANI Hospitality Experience（ひあ）までご連絡ください。

*パッケージのカスタマイズも可能です。ご希望条件を下記メールアドレスまでお送りください。

*豊田スタジアム内スーパールーム（個室）には数に限りがございます。予定数に達し次第受付を終了しますので、個室が必要な場合はお早めにご連絡ください。

ホスピタリティチケット問い合わせ窓口

info.pdhx@pia.co.jp

11 宿泊手配

JTB三河支店は、本イベントの旅行・現地手配代理店です。空港送迎、宿泊、レンタカー、食事、コーディネート等の手配を提供します。

*宿泊費は参加費に含まれません。

国内・国外からの宿泊予約は、ご希望の条件（宿泊日・人数等）を下記メールアドレスまでお送りください。

E-メール: rally_travel@jtb.com

12 メディア

12.1 大会開始前の連絡先

FIA WRCメディアデレゲート : Ms. Vera Dussausaye

電話番号: +41 22 544 45 48

携帯電話: +41 78 978 96 99

E-メール: vdussausaye@fia.com

ウェブサイト: www.fia.com

ナショナルプレスオフィサー: 三浦正人

携帯電話: 090 3902 1555

E-メール: media-rj@rally-japan.jp

ウェブサイト: <https://rally-japan.jp>

12.2 FIAパーマネントパス保持者

ア krediteーションの申請は必要ありませんが、FIAメディアデレゲートとナショナルプレスオフィサーの両方に、パス所有者のイベントへの参加意思を伝えていただく必要があります。公式車検の5日前までに、Eメールにてお知らせください。

12.3 国際メディア、フォトグラファー、ラジオ、インターネットメディア

国際的な出版物、写真家およびウェブサイトからのすべての申請は、11月2日（木）までに、www.fia.comのオンライン認定システムを使って、所定の手続きに従ってFIAに行わなければならない。

12.4 テレビ

テレビ放送に関わる、放送局およびネットワークの申請は、2023年11月2日（木）までに、WRCプロモーターに連絡してください。

accreditation@wrc.com

12.5 国内メディア、フォトグラファー、ウェブサイト、ラジオ局

日本国内の報道機関およびフリーランス（出版、ラジオ、ウェブサイトと取材委託契約を結んでいる方）は、9月16日（土）から10月26日（木）までの間に、ラリージャパン・ナショナルプレスオフィサー宛に申請してください。ガイドライン及び申請フォームは、後日ラリージャパン公式サイトに掲載します。記入済申請フォームと補足書類は併せてmedia-rj@rally-japan.jpまで提出してください。

注意1:ウェブサイトメディアにはジャーナリストパス1枚のみの発給となります。フォトグラファーパスは発給されません。

注意2:フォーラムエイト・ラリージャパン2023に出場するチームのメディア関係者は、WRCプロモーター: accreditation@wrc.com を通じて申し込んでください。

13 医療とセーフティサービス

13.1 緊急通報用電話番号

救急車/消防車: 119
警察: 110

13.2 医療サービス

愛知医科大学病院

愛知県長久手市岩作雁又1-1

N35 11 29.4 E137 02 55.8

Tel: 0561 62 3311 www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/

岐阜大学医学部附属病院

岐阜県岐阜市柳戸1-1

N35 28 06.9 E136 44 01.1

Tel: 058 230 6000 www.hosp.gifu-u.ac.jp

13.3 ロードサービス

スペシャルステージ又はリエゾン区間でロードサービスを利用した場合の費用はすべて競技参加者の負担です。オーガナイザーが手配したサービスを利用した場合も同様です。

JAFロードアシスト Tel: +81 (0)570 00 8139 (call center)

13.4 薬局（サービスパーク周辺のドラッグストア）

	場所 (GPS座標)	電話	開店時間
Vドラッグ 拳母店	N35 05 02.0 E137 09 46.0	0565 37 8855	9:00 - 21:00
スギ薬局 陣中店	N35 05 40.0 E137 09.52.4	0565 85 8810	10:00 - 22:00
ドラッグスギヤマ 美里店	N35 04 58.0 E137 10 52.1	0565 87 1171	10:00 - 21:00
スギ薬局 美里店	N35 04 26.7 E137 10 54.0	0565 87 3571	9:00 - 24:00
スギ薬局 元宮店	N35 04 20.4 E137 09 49.0	0565 36 0160	9:00 - 22:00

14 総合案内

14.1 空港 - 中部セントレア国際空港(NGO)

愛知県常滑市にある中部セントレア国際空港は、アジアのハブ空港のひとつとして国際線13路線、国内線17路線が就航しています（2023年6月現在）。名古屋の中心部からのアクセスは車で40分、名鉄の快速電車は最短で28分です。

名鉄バスでは、豊田市駅とセントレア空港を結ぶ路線を運行しています。所要時間は約80分です。詳細は下記ウェブサイトを参照ください。

<http://www.meitetsu-bus.co.jp/airport/toyota>

14.2 鉄道

国内鉄道網と公共交通機関が整備された名古屋は、新幹線で東京から約100分、大阪からは約50分と、各方面からのアクセスが非常に良い大都市です。名古屋から豊田スタジアム（豊田市駅）までのアクセスは、豊田スタジアムホームページ（<https://www.toyota-stadium.co.jp/access/>）をご覧ください。電車で約70～80分です。

14.3 タイムゾーン

日本のタイムゾーンは日本標準時（JST）で、UCT +9時間です。

14.4 日の出/日の入り

11月19日の豊田市の日の出は6時29分、日の入りは16時43分です。

14.5 平均気温/降水日数

最高気温19℃/最低気温7℃

11月の平均降水日数：5日（豊田市）

14.6 通貨

通貨は日本円（JPY/¥）です。紙幣と硬貨は簡単に識別できます。1,000円、2,000円、5,000円、10,000円の紙幣と、1円、5円、10円、50円、100円、500円の硬貨があります。1ユーロ＝約150円、1 US \$ = 約139円、1 £ = 約176円です。

14.7 税金

日本の消費税（標準税率）は10%です。一部、酒類や外食を除く食料品を対象とする軽減税率は8%です。店舗や商品によっては税抜き表示の場合があります。

14.8 チップ

日本にはチップの習慣はありません。

14.9 電気

日本の電圧は100ボルトです。愛知県の周波数は60Hzです。プラグは北米で使用されているもの（Aタイプ）と同じです。

14.10 携帯電話

最新の携帯電話のほとんどは日本で使用できますが、一部の古い機種は通信方式の違いにより作動しない場合があります。GSM形式の携帯電話は日本では使用できません。



14.11 各国大使館

外務省ホームページでご確認ください。

在日外国公館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/protocol/index.html

大使館・領事館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html

14.12 ビザ（査証）と水際対策

Covid-19による水際対策で日本への入国が制限されていましたが、2023年6月現在ほとんどの制限が緩和され、通常時と同様に68の国と地域に対して査証免除が実施されています。ワクチン接種証明書や出国前検査証明書も必要ありません。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[厚生労働省ホームページ](#)

[外務省・ビザ免除国・地域（短期滞在）](#)